

# 平成30年度学校評価事業

## I 平成30年度の学校評価事業の概要

### 1. 評価項目の内容

評価の重点項目	具体的教育活動・取り組み	評価の指標(方向性、到達点)
教科指導の充実	1) 若手教員の資質向上 2) 進学コースの学力向上 3) ICT教育の推進	1) 研究授業、シラバス遵守、事後指導 2) 受験・模試対応の授業 3) 知識・技能向上、効果的活用
進路指導の充実	4) キャリア教育の充実 5) 主体性・社会性 を育成する活動の推進 6) 看護・福祉系と 公務員志望者への指導充実	4) キャリアエデュケーションの実践 5) 生徒主体の生徒会活動の推進 ボランティア活動の推進 6) 実技・体験講習の実施 入試対応可能な実力の養成

### 2. 年間の事業内容

- 4月 年間評価項目の策定
- 6月 年間評価項目の提示
- 11月 学校関係者評価(父母師会役員依頼)の実施
- 12月 アンケート(生徒・保護者)の実施
- 3月 教員自己評価会議の実施

## II アンケートの結果(抜粋)

### (1) 生徒アンケート

※「当てはまる(そう思うやそそう)」が回答数の80%以上に該当する箇所は○印

高 校 生	1年	2年	3年
先生の授業は、わかりやすい。	○	○	○
授業中、先生の話をよく聞き、意欲的に学習している。	○	○	○
課題・宿題は、適切かつ適量が出されている。	○	○	○
勉学・スポーツ・文化活動に一生懸命取り組んでいる。	○	○	○
「気比較祭」で、自分の役割に積極的に取り組んだ。	○	○	○
クラスの仲間を思いやり、助け合っている。	○	78%	○
学校や社会のルールをきちんと守っている。	○	○	○
高校生としての自覚と責任ある行動をとっている。	○	○	○
学校生活で、基本的な生活習慣が身についた。	○	○	○
精神的に成長した。	○	○	○
将来について考え、具体的に努力するようになった。	○	77%	○

付 属 中 生	1年	2年	3年
先生の授業は、わかりやすい。	75%	○	60%
授業の内容や進め方に、先生の工夫が感じられる。	75%	○	65%
課題・宿題は、適切かつ適量が出されている。	○	68%	70%
毎日、きちんと家庭学習に取り組んでいる。	67%	79%	65%
考査計画票をしっかりと記入し、担任に提出している。	58%	○	75%

## (2) 保護者アンケート

※「当てはまる(そう思うやそそう)」が回答数の80%以上に該当する箇所は○印

高 校 保 護 者	1 年	2 年	3 年
学校で、きめ細やかな学習・生活指導が行われている。	○	○	○
部活動は、子どもの成長に大きな役割を果たしている。	○	○	○
先生は、悩みの相談に親身に応じてくれる。	79%	78%	○
先生は、生活の規律(挨拶・服装など)に関して、力を入れている。	78%	76%	○
学校は、教育内容などが伝わる情報を提供してくれる。	73%	74%	73%
学校で受けた指導(進路・部活動など)を、日々の生活に生かしている。	77%	74%	○
担任や部活動の顧問と、信頼関係を築けている。	76%	70%	○
子どもは、精神的に成長した。	76%	76%	○

付 属 中 保 護 者	1 年	2 年	3 年
子どもに出されている課題は、適切かつ適量である。	58%	○	67%
きめ細やかな学習指導が行われている。	58%	○	67%
ベネッセ学力推移調査や県模試は、学力向上に役立っている。	58%	○	○
ユネスコスクールの活動は、子どもの成長に役立っている。	50%	74%	○

## (3) アンケートの結果から

- ①生徒アンケートから、高校生は「教科」「部活動」「学校生活」などにおいて高評価を得た。中学生においても概ね満足を得ているが、改善する余地もあり、教科指導や生徒指導を通して対応していきたい。
- ②保護者アンケートから、高3においては「学習」「部活動」「生徒指導」などにおいて高評価を得た。中学生や高1・高2においては、高3に比べると満足度が少し下がっている項目があり、今後の課題である。

## Ⅲ 学校関係者評価の結果(抜粋)

1. 評価者 父母と教師の会 役員3名

2. 評価の内容

### ①生徒の様子

- ・授業中、教室を満遍なくまわったが、どこも非常に静かで落ち着いていた。
- ・生徒が真剣に授業を聞いている姿を観察することができた。
- ・タブレットを用いた授業、宿題のやりとりなどの説明を見聞きすることで、あまりピンときていなかったタブレット利用について興味、関心が持てた。

### ②購買の様子

- ・なるべく温かな食事（メニュー）を提供しようとする販売者側の思いが感じられた。
- ・メニューも一週間交替で品数も多く、値段も丼物で 400 円台と保護者にとってありがたい値段でした。
- ・購買を利用している生徒がとても多くいることがわかった。
- ・自動販売機の収益金はどのように扱っているのか。  
（回答）学園の収益金として扱い、学校運営の目的で適切に処置しています。

### ③寮の昼食

- ・食堂内の冷蔵庫 3 台について、衛生面に留意をお願いします。  
（回答）冷蔵庫 3 台を新しく入れ替えます。

### ④施設、設備等について

- ・創設 30 年を経過した状況について、建物の経年劣化が懸念される時期になりますが、大きな損傷、劣化及び痕跡は少ないと思いました。
- ・寮生活での不便さ（給湯設備の不具合、洗濯機等）は可能な限り改善してホッとできる空間を提供していただけたらと思います。  
（回答）寮の洗濯機についても 3 台入れ替えました。また、寮の水圧を正常にするための工事も行い環境を改善していきます。

### ⑤その他

- ・多くの課外活動を見学させていただき、どの部活動の生徒も挨拶が徹底されていて気持ちよかった。礼儀等の教えが行き届いていると思いました。熱心に指導されている先生方、熱心に打ち込む生徒たちを目の当たりにし、非常に感動しました。

## IV 教員自己評価の結果（抜粋）

- ・キャリア教育については、進路について考える時間が中心となってしまいが、本来の社会に出てから生き抜く力の養成に向けて、今後、取り組んでいく必要がある。
- ・ICT 教育では教員が効果的な指導法を学び有効活用できるよう、教員研修の機会を設けていく必要がある。デジタル教科書の利用が普及してきているが、あわせて、教員が板書し、それを生徒が書き取ることの必要性もと認識することが大切である。